

## 5-5. ロケータや治具の取付

- ・ チャックボデー表面にロケータや治具を取付る場合は、図 18 に示す追加工範囲内に穴明けを行ってください。

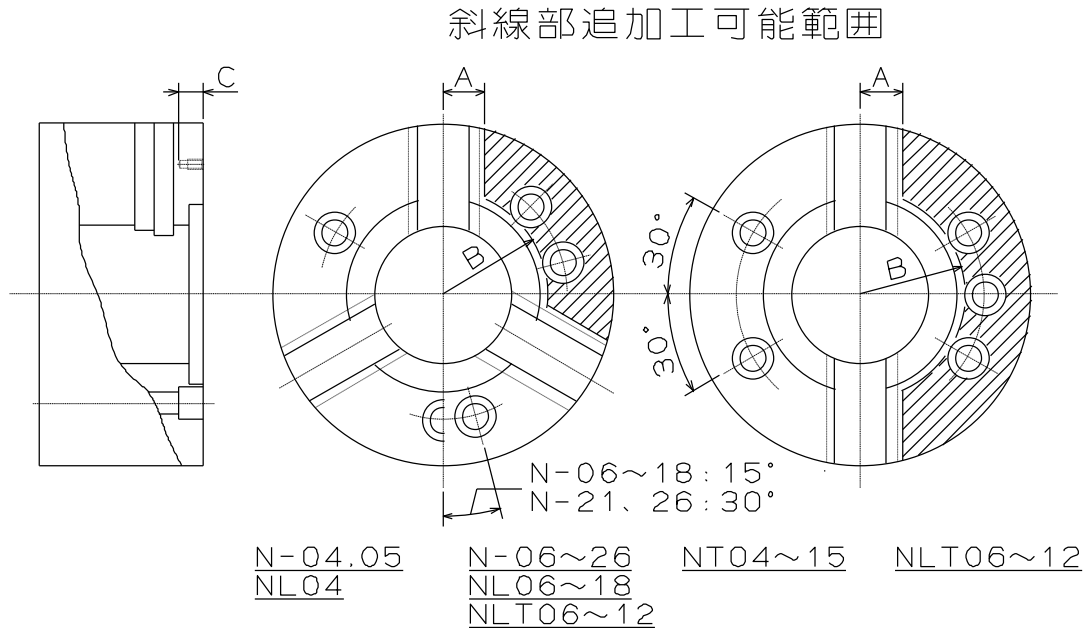


図 18

表 9

形式	A (mm)	B (mm)	C (mm)
N-04, NL04, NT04	22	37	15 以下
N-05, NT05	22	44	15 以下
N-06, NL06, NLT06	26	55	20 以下
N-08, NL08, NLT08	29	60	20 以下
N-10, NL10, NLT10	34	67	20 以下
N-12, NL12, NLT12	40	80	20 以下
N-15, NT15	53	90	30 以下
N-18, NL18	53	119	30 以下
N-21	53	98	30 以下
N-24	53	137	30 以下

A、B: 追加工不可寸法    C: 加工可能深さ



上記で許可された範囲以外のチャックの改造はしないようにして下さい。チャックが破損するだけでなく、チャックの破損した部品や工作物が飛散し、重大な事故に繋がる恐れがあり、大変に危険です。

ロケータまたは治具には遠心力による飛散防止対策(ドウエルピン等)を施し、十分な強度のボルトで取り付けるようにして下さい。ロケータや治具が飛散する恐れがあり非常に危険です。